

一枚岩の守り犬

和歌山県・古座川町の一枚岩は一目見ただけでその凄さがわかる巨大な岩です。しかしそれが1匹の「犬」によって守られてきていることは案外知られていません。その犬は「一枚岩の守り犬」と呼ばれています。

「一枚岩の守り犬」が現れるのは・・・

4月19日頃の前後3日間と8月25日頃の前後3日間
夕方5時頃の約5分の間
曇りや雨でないこと

上記3つの条件が満ちた一枚岩の岩壁上です

お問い合わせ先・・・一枚岩鹿鳴館
古座川町相瀬290-2
Tel:0735-78-0244

古座川町観光協会
古座川町高池673-2
役場産業振興課内
Tel:0735-72-0180

撮影 早山信武氏

～古座川伝説～

昔、太地に岩が大好物の魔物が住んでいました。浦神から喰べ歩きを始めた魔物は池野山、月野瀬と古座川上流へ喰べ進んで行きました。そして相瀬で一枚岩を喰べようと噛み付いた時、蔵土の飼い犬が猛然と襲いかかりました。犬がもっとも苦手な魔物は一目散に退散していきました。お陰で一枚岩とその上流の岩は喰べられずに無事残っているということです。ちなみに岩壁には魔物の歯形跡といわれる部分や、悔し涙が滝となって流れる「陰陽の滝」と呼ばれる滝があります。

